

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

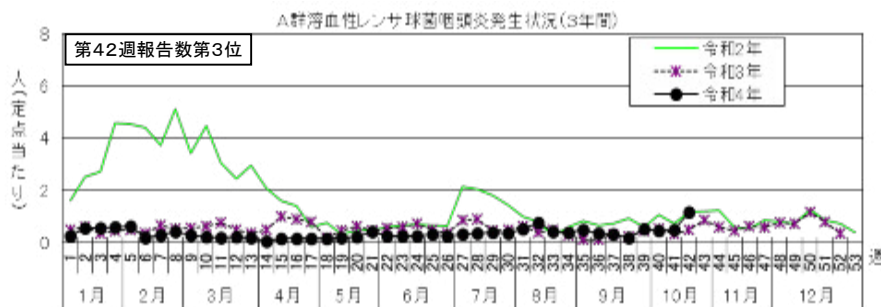
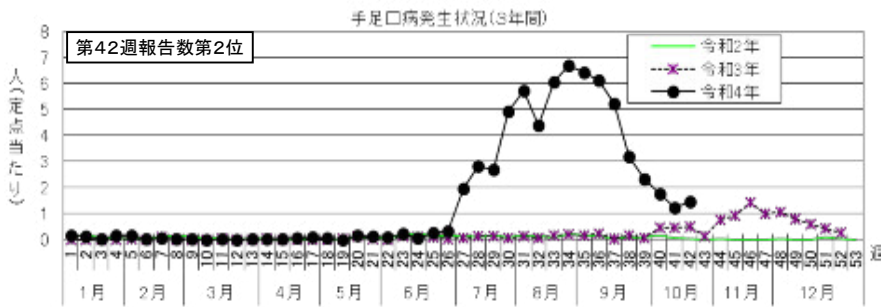
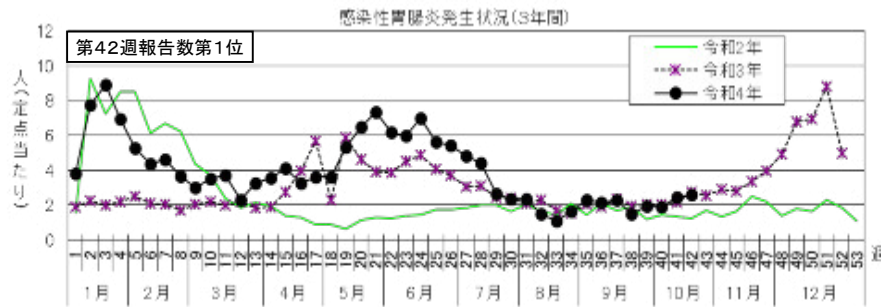
令和4年10月17日（月）～令和4年10月23日（日）〔令和4年第42週〕の感染症発生状況

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.61人と前週（2.44人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は1.47人と前週（1.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.17人と前週（0.47人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

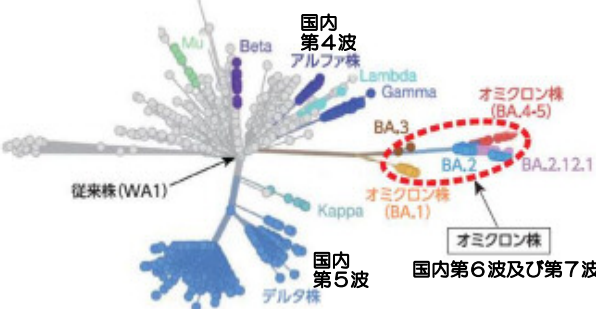


オミクロン株BA.4-5に対応したワクチンの接種を開始

新型コロナウイルスは、様々な変異株が確認されており、現在はオミクロン株が流行の主流です。さらに、オミクロン株の中にもBA.1からBA.5までの亜系統があり、現在、川崎市内ではBA.5による感染が中心です。

当初は、中国で流行した従来株に対応するワクチンを使用していましたが、流行状況に合わせてオミクロン株BA.1やBA.4-5に対応したワクチンも開発されました。川崎市では、従来型ワクチンの2回接種を終えた方を対象に、流行株であるBA.4-5に対応した新たなワクチンの接種を、令和4年10月24日から開始しました。オミクロン株の系統にかかわらず、オミクロン株の成分を含むことで、従来型ワクチンを上回る効果が期待されています。接種可能なワクチンは、年齢や接種回数により異なりますので御注意ください。

新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ



オミクロン株対応ワクチン接種対象者※

年齢	従来型ワクチン接種歴	接種対象者※
18歳以上	2回以上接種済み	BA.1対応型 若しくは BA.4-5対応型 接種対象者※※
12～17歳	2回又は3回接種済み	BA.1対応型 若しくは BA.4-5対応型 接種対象者※※

※従来型2回未接種の方及び12歳未満の方は接種対象外

※※オミクロン株対応ワクチンは種類を問わず1人1回接種可能

詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。

厚生労働省 第102回新型コロナウイルス感染症対策
アドバイザリーボード資料より作成